

(警察本部)

(単位：千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名
<p>1 令和2年7月豪雨からの創造的復興 【施策1】被災者・被災地域の1日も早い復旧・復興に向けた取組み 施策1-③災害に強い社会インフラ整備と安心して学べる拠点づくり</p>	2,271	2,270	<p>1 警察施設災害復旧費 令和2年7月豪雨により被災した坂本駐在所について、プレハブを賃借の上、業務を継続した。また、坂本駐在所一帯は八代市によるかさ上げ工事が予定されており、今後の同駐在所の再築場所、時期等について、八代市と協議を実施した。</p>	警察施設災害復旧費のうち P407
<p>【施策2】県内全域で取り組む災害に強い郷土づくり 施策2-①国土強靱化に向けた取組み</p>	652,831	647,685	<p>1 警察統合OA整備費 警察本部庁舎が機能停止した場合に備えるため、警察業務システムのバックアップシステムを構築し、機能移転訓練を実施した。</p> <p>2 危機管理対策費 県内で予想される豪雨災害、阿蘇山の噴火、南海トラフ地震等の大規模災害に備えるため、充電式チェンソー、災害用ヘルメット(水難救助用を含む)、ポータブルLED投光器等を購入・整備して警察署へ配備するとともに、高い救助技術を有する機動隊員が迅速、的確に活動するためのドライスーツ、ウェットスーツ、スタティックロープ等を購入し、災害対応に向けた万全の態勢構築を図った。</p>	警察本部費のうち P355～P358 警察活動費のうち P361～P362
<p>2 新型コロナウイルス感染症を踏まえた対応 【施策1】感染症対策の体制強化 施策1-①感染拡大防止対策及び相談・検査体制等の確保</p>	56,029	40,234	<p>1 警察活動感染症対策事業 各種警察活動における新型コロナウイルス感染症拡大防止を推進するため、感染症対策資機材等を整備した。</p> <p>(1) 来庁者が予定されている場所を中心としたオゾンガス式除染装置等の整備による感染拡大防止対策の実施</p> <p>(2) 窓が開放できない取調室へのアクリルパネルの設置による飛沫感染防止対策の実施</p> <p>(3) 遺体の検視(死体調査)作業における感染症対策資機材の整備</p>	警察活動費のうち P361～P362

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名												
<p>【施策2】持続可能な社会の実現            施策2-①生活への支援、子供の居場所の確保、差別・犯罪の防止</p>	304,572	289,824	<p>1 「電話で『お金』詐欺」防止総合対策事業            「電話で『お金』詐欺」被害の防止に向けた各種施策を推進した。</p> <p>(1) 県内の「電話で『お金』詐欺」被害の推移</p> <table border="1" data-bbox="925 400 1888 520"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和3年</th> <th>令和4年</th> <th>増減(4年-3年)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>被害件数</td> <td>88件</td> <td>100件</td> <td>+12件(+13.6%)</td> </tr> <tr> <td>被害金額</td> <td>171,102</td> <td>329,411</td> <td>+158,309(+92.5%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 「電話で『お金』詐欺」被害防止推進活動</p> <p>① 被害に遭うリスクの高い押収名簿登載者や高齢者に対して、被害防止コールセンターによる注意喚起を実施</p> <p>② 金融機関、コンビニエンスストア等と連携したキャンペーン及び声かけ、テレビCM、SNS等を活用した広報啓発活動の実施</p> <p>2 ストーカー・DV等人身安全対策の推進            ストーカー・DV行為者の検挙、精神医学的・心理学的アプローチに係るカウンセリングの実施等により、被害者等の安全を確保するとともに行為の沈静化及び再犯防止を図った。</p> <p>(1) ストーカー事案対策の強化            令和4年中のストーカー事案認知件数：357件            ・ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づく文書警告：11件            ・ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づく禁止命令：33件            ・ストーカー行為等の規制等に関する法律違反による検挙：9件            ・他法律による検挙：35件</p> <p>(2) DV事案対策の強化            令和4年中のDV事案認知件数：603件            ・配偶者からの暴力及び被害者の保護等に関する法律に基づく保護命令違反による検挙：1件            ・他法律による検挙：80件</p> <p>(3) ストーカー行為等・DVから被害者を守る具体的取組み            ・ストーカー行為者の特定、犯罪行為の証拠化等のため、被害者方等に監視カメラを設置(令和4年度設置件数：15件)            ・地域精神科医療機関と連携して再発防止を図るため、3人のストーカー行為者に対して精神医学的・心理学的アプローチに係るカウンセリングを実施</p>		令和3年	令和4年	増減(4年-3年)	被害件数	88件	100件	+12件(+13.6%)	被害金額	171,102	329,411	+158,309(+92.5%)	<p>警察活動費のうち P361～P362</p> <p>警察活動費のうち P361～P362</p>
	令和3年	令和4年	増減(4年-3年)													
被害件数	88件	100件	+12件(+13.6%)													
被害金額	171,102	329,411	+158,309(+92.5%)													

(警察本部)

(単位：千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名																																
(施策2-①生活への支援、子供の居場所の確保、差別・犯罪の防止)			3 くまもとを支える安全安心の確保 熊本市や関係機関と連携した繁華街における合同パトロールを実施し、取締りを強化するなど、繁華街の環境浄化を図った。 (1) 繁華街における治安維持活動の推進 繁華街における治安維持活動に必要な装備資機材の整備、熊本市や関係機関・団体との毎月の定例会議の開催、合同パトロール、街頭ビジョン放映による客引きへの注意喚起を実施 (2) 悪質な客引きの検挙 繁華街における悪質な客引き行為者の検挙 (3) 街頭防犯カメラネットワークシステムの運用 犯罪が発生する蓋然性が高い熊本市中心繁華街及び熊本駅周辺に、防犯カメラ合計40台を設置し、街頭防犯カメラネットワークシステムを運用 4 安全・安心・健全に暮らせるまちづくり事業(少年非行防止活動の推進) 非行少年を生まない社会づくりに取り組むとともに、少年の立ち直りを支援する活動を実施し、少年の規範意識の向上及び社会との絆の強化を図った。 (1) 少年非行の現状 <table border="1" data-bbox="922 798 1888 1114"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和3年</th> <th>令和4年</th> <th>増減(4年-3年)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>刑法犯少年数</td> <td>242人</td> <td>260人</td> <td>+18人 (+7.4%)</td> </tr> <tr> <td>初発型非行少年数</td> <td>112人</td> <td>116人</td> <td>+4人 (+3.6%)</td> </tr> <tr> <td>再非行少年数</td> <td>33人</td> <td>38人</td> <td>+5人 (+15.2%)</td> </tr> <tr> <td>再非行者率</td> <td>13.6%</td> <td>14.6%</td> <td>+1.0ポイント</td> </tr> <tr> <td>特別法犯少年数</td> <td>50人</td> <td>69人</td> <td>+19人 (+38.0%)</td> </tr> <tr> <td>薬物乱用少年数</td> <td>5人</td> <td>14人</td> <td>+9人 (+180.0%)</td> </tr> <tr> <td>不良行為少年の補導数</td> <td>717人</td> <td>968人</td> <td>+251人 (+35.0%)</td> </tr> </tbody> </table> (2) SNSに起因する子供の性被害等防止のための広報啓発活動 サイバーパトロールにより発見したSNS上の児童買春や児童ポルノ等の書き込みに対する広報啓発活動を実施(9,274件) (3) 保護者に対する広報啓発 SNSに起因する子供の被害・非行防止のための保護者向け広報啓発冊子「スマホに弱い大人の教科書(熊本県警察発刊)」を2万部増刷し、入学説明会等で県内の新中学1年生の保護者に配布	区分	令和3年	令和4年	増減(4年-3年)	刑法犯少年数	242人	260人	+18人 (+7.4%)	初発型非行少年数	112人	116人	+4人 (+3.6%)	再非行少年数	33人	38人	+5人 (+15.2%)	再非行者率	13.6%	14.6%	+1.0ポイント	特別法犯少年数	50人	69人	+19人 (+38.0%)	薬物乱用少年数	5人	14人	+9人 (+180.0%)	不良行為少年の補導数	717人	968人	+251人 (+35.0%)	警察活動費のうち P361 ~ P362  警察活動費のうち P361 ~ P362
			区分	令和3年	令和4年	増減(4年-3年)																														
刑法犯少年数	242人	260人	+18人 (+7.4%)																																	
初発型非行少年数	112人	116人	+4人 (+3.6%)																																	
再非行少年数	33人	38人	+5人 (+15.2%)																																	
再非行者率	13.6%	14.6%	+1.0ポイント																																	
特別法犯少年数	50人	69人	+19人 (+38.0%)																																	
薬物乱用少年数	5人	14人	+9人 (+180.0%)																																	
不良行為少年の補導数	717人	968人	+251人 (+35.0%)																																	

(警察本部)

(単位：千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名												
(施策2-①生活への支援、子供の居場所の確保、差別・犯罪の防止)			<p>(4) 学校との連携</p> <p>① 熊本県学校等警察連絡協議会、熊本県学校・警察相互連絡制度の効果的な運用</p> <p>② スクールサポーター制度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の問題行動等への対応 : 4,021回</li> <li>・非行・被害防止教育の支援等 : 257回</li> <li>・防犯パトロール等による児童生徒の安全確保対策 : 3,161回</li> </ul> <p>(5) 少年警察ボランティアとの連携</p> <p>① 少年指導委員と連携した風俗営業店舗への立入りによる環境浄化活動 : 110店舗</p> <p>② 少年サポーターと連携した非行少年、不良行為少年等に対する支援 : 72回</p> <p>(6) 警察が行う児童通告</p> <p>令和4年中に警察から児童相談所への通告児童数 : 1,669人</p> <p>5 サイバー犯罪対策の強化</p> <p>(1) サイバー関連事案の検挙及び相談状況</p> <p>他人のSNSアカウントを乗っ取った不正アクセス行為の禁止等に関する法律違反及び私電磁的記録不正作出・同供用事件等検挙のほか、実在する会社等をかたって偽サイトに誘導し、アカウント情報やクレジットカード情報等を盗むフィッシング被害に関する相談を受理</p> <table border="1" data-bbox="940 837 1888 954"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和3年</th> <th>令和4年</th> <th>増減(4年-3年)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サイバー犯罪検挙件数</td> <td>245件</td> <td>121件</td> <td>▲124件(-50.6%)</td> </tr> <tr> <td>サイバー犯罪相談件数</td> <td>3,554件</td> <td>4,304件</td> <td>+750件(+21.1%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 人的基盤の強化</p> <p>民間研修への参加、サイバー犯罪テクニカルアドバイザーによる研修、サイバー犯罪に関するシンポジウムへの参加等、民間知見を取り入れた人材育成の推進</p> <p>(3) 物的基盤の強化</p> <p>解析用資機材、解析用ネットワーク資機材、ウェブ会議システム等、捜査及び人材育成に必要な資機材等の整備・拡充</p> <p>6 捜査基盤の強化</p> <p>初動捜査支援システムを活用し、殺人、強盗等の凶悪犯罪、交通ひき逃げ事件等において被疑者の早期確保、特異行方不明事案において関係者の確保、DV・ストーカー事案における被疑者・行為者の発見捕捉等を行った。</p>		令和3年	令和4年	増減(4年-3年)	サイバー犯罪検挙件数	245件	121件	▲124件(-50.6%)	サイバー犯罪相談件数	3,554件	4,304件	+750件(+21.1%)	<p>警察活動費のうち P361 ~ P362</p> <p>警察活動費のうち P361 ~ P362</p>
	令和3年	令和4年	増減(4年-3年)													
サイバー犯罪検挙件数	245件	121件	▲124件(-50.6%)													
サイバー犯罪相談件数	3,554件	4,304件	+750件(+21.1%)													

(警察本部)

(単位：千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名
<p>(施策2-①生活への支援、子供の居場所の確保、差別・犯罪の防止)</p>			<p>7 暴力団総合対策の推進</p> <p>暴力団等の犯罪組織に対する取締りを徹底するとともに、暴力団対策法及び熊本県暴力団排除条例の効果的運用や地域住民等の暴力団排除活動の支援を行うなど、組織犯罪に係る諸対策を推進した。</p> <p>(1) 暴力団犯罪の取締り 令和4年中の暴力団員等の検挙人員：114人(前年比▲25人)</p> <p>(2) 熊本県暴力団排除条例の運用 暴力団員に用心棒代等を供与した事業者に対する勧告：14件</p> <p>(3) 関係機関・団体と連携した暴力団排除 国や地方自治体が行う公共事業等や各種業法の許認可、地方自治体が行う生活保護等の給付や公営住宅への入居及び民間企業が行う各種取引からの暴力団を排除するための取組みを推進した。</p> <p>(4) 暴力団排除に向けた不当要求防止責任者講習の開催 公益財団法人熊本県暴力団追放運動推進センターと連携し、集合講習と併用してオンラインを利用した責任者講習15回(受講者数951人)を実施した。</p> <p>(5) 「令和2年7月豪雨災害」に係る復旧・復興事業からの暴力団排除の取組み 復旧事業に係る人材派遣や下請け参入における暴力団の排除を推進するための国・県・関係団体間での情報共有を実施した。</p> <p>(6) TSMC進出に関連する暴力団等排除対策協議会の設置 TSMCの子会社であるJASM株式会社との間で、暴力団等の排除及び不当要求未然防止のため「JASM新築工事暴力団等排除対策協議会」を発足させた。</p>	<p>警察活動費のうち P361～P362</p>

(警察本部)

(単位：千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名																																
4 将来に向けた地方創生の取組み <b>【施策3】安全・安心な社会の実現</b> 施策3-③一人ひとりが尊重され、自分らしく暮らせる社会の創造	13,980	12,509	1 犯罪被害者支援活動の推進 犯罪被害者等の被害回復及び二次的被害の防止・軽減を図るため、各種施策を推進した。 (1) 民間被害者支援団体との連携 被害者等への支援活動における活動基盤の強化を図るため、公益社団法人くまもと被害者支援センターとの連携を強化するとともに、同センターに対する補助金の交付を実施 <table border="1"> <thead> <tr> <th>活動業務</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>増減(4年-3年)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談業務(電話、メール等)</td> <td>2,002件</td> <td>1,523件</td> <td>▲479件(▲23.9%)</td> </tr> <tr> <td>直接的支援業務(病院付添等)</td> <td>266件</td> <td>163件</td> <td>▲103件(▲38.7%)</td> </tr> <tr> <td>専門相談業務(弁護士等)</td> <td>37件</td> <td>23件</td> <td>▲14件(▲37.8%)</td> </tr> </tbody> </table> (2) 二次的被害の防止・軽減事業 犯罪被害直後の居住場所の確保、診断書料・カウンセリング費等の公費負担による被害者の精神的・経済的負担の軽減 <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業項目</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>増減(4年-3年)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中長期的避難施設借上事業</td> <td>3件</td> <td>2件</td> <td>▲1件(▲33.3%)</td> </tr> <tr> <td>診断書手数料等の公費負担事業</td> <td>161件</td> <td>155件</td> <td>▲6件(▲3.7%)</td> </tr> <tr> <td>職員メンタルヘルス対策事業</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> </tbody> </table>	活動業務	令和3年度	令和4年度	増減(4年-3年)	相談業務(電話、メール等)	2,002件	1,523件	▲479件(▲23.9%)	直接的支援業務(病院付添等)	266件	163件	▲103件(▲38.7%)	専門相談業務(弁護士等)	37件	23件	▲14件(▲37.8%)	事業項目	令和3年度	令和4年度	増減(4年-3年)	中長期的避難施設借上事業	3件	2件	▲1件(▲33.3%)	診断書手数料等の公費負担事業	161件	155件	▲6件(▲3.7%)	職員メンタルヘルス対策事業	0件	0件	0件	警察活動費のうち P361～P362
活動業務	令和3年度	令和4年度	増減(4年-3年)																																	
相談業務(電話、メール等)	2,002件	1,523件	▲479件(▲23.9%)																																	
直接的支援業務(病院付添等)	266件	163件	▲103件(▲38.7%)																																	
専門相談業務(弁護士等)	37件	23件	▲14件(▲37.8%)																																	
事業項目	令和3年度	令和4年度	増減(4年-3年)																																	
中長期的避難施設借上事業	3件	2件	▲1件(▲33.3%)																																	
診断書手数料等の公費負担事業	161件	155件	▲6件(▲3.7%)																																	
職員メンタルヘルス対策事業	0件	0件	0件																																	
<b>【施策4】魅力ある地域づくり</b> 施策4-①交通体系の最適化	1,489,181	1,475,914	1 交通安全施設等の整備 安全で円滑な交通環境を確保するため、交通安全施設等の整備を行った。 (1) 道路の新設・改良等に伴う交通安全施設等の整備 新たな道路の開通や交差点部の改良等に伴う信号機の新設、道路標識・標示の整備 (2) 交通管制システムの整備 ① 信号制御の集中化による信号機の高度化の実施 ② 光ビーコンや車両感知器等の整備 ③ 交通情報をドライバーに提供する交通情報板の整備 (3) 災害に備えた交通安全施設等の整備 ① 信号灯器のLED化による軽量化、信号柱の鋼管柱への建替 ② 停電時に備えた自動起動式発動発電機付信号機の整備	警察活動費のうち P361～P362																																

(警察本部)

(単位：千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名
6 その他 (6) 警察組織の基盤整備	955,309	933,070	1 上天草警察署の整備 上天草警察署新庁舎については、旧庁舎（昭和 44 年 3 月）の老朽化、狭あい化及び耐震性に係る課題、職員宿舎が土砂災害特別警戒区域に位置している状況等を踏まえ、敷地を拡張の上、職員宿舎を併合した庁舎として現地建替を行うこととし、令和 4 年度中は、令和 3 年度に引き続き、庁舎建設工事を実施した。 (1) 新庁舎の所在地 上天草市大矢野町中 11582 番地 3（拡張後敷地面積 5,521.64 m <sup>2</sup> ） (2) 新庁舎の建設内容 ① 庁舎（鉄骨造 3 階建 2,824.13 m <sup>2</sup> ） ② その他（車庫、倉庫及び駐輪場） (3) 新庁舎の建設スケジュール 平成 30 年度：測量 令和元年度～2 年度：用地購入及び設計 令和 2 年度：地質調査 令和 3 年度～5 年度：庁舎建設工事	警察施設費のうち P359 ～ P360